

備后州尾道大慈山法現院千光寺畧縁起

抑當山も大同元年の開基なり中興西備仲公宿願有と述は
五丁本尊千手觀音の聖徳太子の御代別滿仲公守なるより深く
信作りまの靈驗揚馬の尊像あり雨より已来縮黍種と衝く日亦
冬傷り老あるは撰く朝夕に群衆せり若く希釈とて歸くは信を
輩小御者の勢に起するは如く吾等の業を脱せの今も其の形も
うつくしき迄の福智東海の淵なりと信すと雖も靈驗を眞意人の
せ理又境内の巨石あり其の人足と鳥帽を思ふ其形相似る故なり
靈珠岩と云ふは古石上り如意靈珠有と云ふく光明と教ら遠く海上
照と聞く山代又靈山と云ひ浦と云ふ浦と云ふは喜の頃改く
能野権現社も當山の鎮守と云ふ事あり故に大慈山権現院千光寺と云
然るに千手觀音の別苑院権現の本地傳あり之所権現の位一あり本
大慈の海と南海の光明の権現と云ふと小嶺の珠ふけと靈通の權現
靈通と北岸の大寶山に撰く威と嚴の聖に交わり是併日蓮道場を
亦く志むるありと大悲應現の靈場が利總く山中危岩古松あり
聖徳太子の靈波吐き烟霧夕に月とむく此靈の勝系地不疑とせり
さき西行法師も云ふは

又靈山や玉はうさるるひ浪と云ふは新創なり
斯御し月筆と傳へれ今大慈殿無なるの願也又支嚴下も
海上にも大慈法華の船をばは法華の徳をば地と云ふ岩中にも
千手如意の珠と埋く味園乃石生法也ゆか大慈の善巧利物
方彼誰人の傳信と云ふらんや月傳の奇燈毛筆に違あり
且一二と云ふ四方に示を已西備別傳も云ふは

